

# 茂原市制施行70周年 未来へ向けた飛躍の年へ



茂原市長

田中豊彦

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、夏に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、史上最多のメダルを獲得するなど、日本人選手の目覚ましい活躍は、私たちに夢と感動を与えてくれました。一方、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しはあるものの、変異株の感染拡大

大が懸念されるなど、皆さまを取り巻く環境は、いまだ非常に厳しい状況でありますので、本市といたしましてはできる限りの支援を実施してまいります。

まず、国の経済対策として、18歳以下の子ども1人につき10万円を給付する「子育て世帯への臨時特別給付金」につきましては、対象となる方には全て現金で支給いたします。「住民税非課税世帯等臨時特別給付金」および「生活困窮者自立支援金」につきましても、対象とな

る世帯に対して速やかな支給に努めてまいります。

また、市独自の支援策として、中小事業者に対する補助金等の支援も継続的に実施してまいります。

新型コロナウイルス接種につきましては、1月から医療従事者だけでなく対象となる住民の方へ3回目の接種を開始いたします。今後も、地元医師会との連携を図り、希望される方に速やかなワクチン接種ができるよう取り組んでまいります。

さて本年は、茂原市制施行70周年の節目の年となります。これまで本市を築きあげてこられた先人の皆さまに感謝し、未来へ向けた飛躍の年にするため、時代の潮流を的確に捉え、持続可能なまちづくりのためのさまざまな施策を推進してまいります。

昨年異常気象による大規模な災害が全国各地で発生し、甚大な被害が出た地域もございました。本市といたしましては、皆さまが安全安心に生活できるように、内水対策や河川改修に取り組んでまいります。

内水対策につきましては、早野排水機場および鷲巣稲荷前水門の排水ポンプが、それぞれ稼働する予定でございます。

また、千葉県が行う二級河川一宮川の浸水対策につきましては、第二調節池増設や鶴枝川合流点から豊田川合流点までの護岸法立<sup>ごがのりた</sup>て工事などが進められるとともに、上流域および支川における浸水対策の新規事業化に向けた取り組みが進められております。今後も、早期に浸水被害の軽減が図れるよう県と連携してまいります。

子育て支援につきましては、中の島保育所、旧五郷保育所および五郷幼稚園を

統廃合し、本市では2例目となる、公私連携<sup>けいしりんけい</sup>幼児保連携型認定こども園として、「もばら空と杜<sup>も</sup>のこども園」が4月から開園いたします。これに伴い3月末をもって中の島保育所および五郷幼稚園は閉所・閉園となりますが、長年に渡り多大なるご尽力を賜りました皆さまに、心より御礼申し上げます。

教育環境の整備につきましては、昨年9月に本納中学校敷地内に本納小学校が移転し、本市では初めてとなる施設一体型の小中一貫教育が開始され、順調に進んでおります。引き続き、小中一貫教育を推進するとともに「茂原市学校再編第二次実施計画」を策定し、子どもたちにとってより良い教育環境の確保に努めてまいります。

農業の担い手育成につきましては、農業者の高齢化により、担い手や後継者不足が懸念されており、今後の地域農業を担う後継者や農地を守るための具体的な方策を示す「人・農地プラン」を市農業委員会と連携し、地域ごとに策定してまいります。

「茂原七夕まつり」につきましては、感染症の拡大により、2年連続の中止となりましたが、経済効果はもとより、市

民の皆さまやご来場いただく方々に、本市の魅力や愛着を感じていただける、大変価値のあるイベントであると考えております。訪れた多くの皆さまが、安全に楽しくご参加いただけるよう、十分な感染症対策を実施し、関東屈指の夏まつりにふさわしく、華やかにそして盛大に開催してまいります。

情報化につきましては、国におけるデジタル庁の創設や、小中学校におけるICT教育の推進など、急速に進展する社会のデジタル化に適切に対応していくため、茂原市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進基本方針を策定し、市民の皆さまの利便性向上と行政事務の効率化に資するよう、自治体のDXを推進してまいります。

新春を迎え心新たに、本市が目指す将来都市像「未来へつながらる『交流拠点都市』もばら」の実現に向け、市政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。